

学校だより

以下に記載の学年は、各学校行事実施時のものである。

技能五輪「電気溶接職種」茨城県大会

2月8日、本校を会場として2024年度技能五輪「電気溶接職種」茨城県大会が開催され、塙和樹さん(2年溶接科)が出場した。この大会は2025年度技能五輪全国大会の茨城県代表を選考する大会であり、本校の他に4会場で開催された。出場選手は卒業生5名、事業所実習中の大内拓海さん(3年溶接科) 松井颯輝さん(3年溶接科) の2名と他3名の計11名で行われた。塙さんが本格的に圧力容器課題の製作を始めたのは昨年の10月からで、部活動(剣道部)と両立しながらの訓練のため充分な訓練時間を確保できず、非常に過酷な挑戦であった。職業能力開発協会、技能検定員の立会で行われる公式の大会の出場は初めての経験で、表情からも緊張している様子が伺えたが、競技中は大きなミスをすることなく訓練通りの課題を作製することができた。課題の採点は2月12日に日立事業所にて各事業所の検定員、指導員により行われ、その結果茨城県代表選手として推薦された。

2年溶接科 塙 和樹
技能五輪茨城県大会を終えて、こ



課題に取り組む塙さん

れまでの訓練を振り返ってみました。まず初めに技能五輪に挑戦した理由は、不器用な自分を変え技能面での向上をめざし、人として成長をしたいと思いますからです。訓練は楽しいことばかりではなく、なかなか上手いかず悩むことが幾度もありました。本番前日に友人や先生方に沢山の応援の言葉をいただき、覚悟を決め大会に挑みました。競技が始まり大きな不安はありましたが、いつも通りの課題を提出でき、その時の達成感は間違いなく私の今までの人生で一番でした。この体験を通して、私は強い心を持ち頑張り続ける大切さと、周りの人の支えがあつてこの達成感が得られたことに気づきました。これから全国大会に向けて更に訓練を積んで、全国大会では県大会以上の達成感を得られるように頑張っていきたいです。

1学年宿泊研修・工場見学

2月19日から21日、3日間の日程で宿泊研修を実施した。普段生活している寮とは異なる場所に宿泊し、変化に対応する力や、様々なプログラムの中で集団行動を通しての協調性を養うことを目的としている。19日は、日立ハイテク(那珂地区)と日立Astemo(佐和工場)へお伺いし、事業所見学をさせていただいた。様々な製造現場と卒業生が勤務されている姿を見て、生徒は将来の自分の姿や仕事のイメージが湧いたようである。ご対応いただいた事業所の皆様および同窓会の皆様に、御礼申し上げます。



1学年宿泊研修(ろくろ体験)

2日目は、宿泊先の「さしま少年自然の家」にて、「ASE研修(チームビルディング)」「昼食のBBQ」「オリエンテーリング」を実施した。

3つとも、各グループのコミュニケーション力や協調性が必要とされる。年々、そのような力が幼くなっている年齢層であるが、四苦八苦しながらも皆でやり遂げる経験をすることができた。

最終日は「フォレストアドベンチャーつくば」で高所体験、笠間市の「松佐陶工房」にて陶芸によるものづくり体験を行った。高所体験は、ハーネスを装着して遊びの中で高所での不向きと安全について学び、陶芸では実際に「ろくろ」を回して作品に対するこだわりや集中力を学んだ。あつという間の3日間であったが、ここで得たたくさんの経験を今後の学校・寮生活で活かし、日専校生としてあるべき姿に近づけるよう、さらなる成長を期待している。

2学年宿泊研修

2月18日から21日、「軽井沢プリンスホテルスキー場」において、2学年の宿泊研修を行った。スキー技術はインストラクターの丁寧で熱心なご指導のおかげで生徒全員のレベルが向上できた。最終日のフリー滑走では、各班のリーダーを中心とした事前ミーティングの実施により、RKY、報連相などを確認して出発し、全員が無事に終了できた。テーマ研修では、2年生を振り返って、ここまでのGoodアクション、Badアクションについて考え、ケイスタディーからのディスカッション



2学年宿泊研修(軽井沢プリンスホテルスキー場)

ンを行った。また、今の日専校生に足りないものなど、日専校生のあるべき姿、日専校生らしさについてディスカッションを実施した。さらに、今回延べ35人以上の生徒が様々な場面ですピーチを行った。かなり緊張していた生徒もいたが、このような経験をさらに積ませていきたいと思う。また、スキースクールの先生や、ホテルのスタッフ、食事スタッフの方々など、様々な場面でお褒めの言葉をいただいた。日頃の生徒の振る舞いが、このような場面でも発揮され、多少の失敗があつたものの、日専校生徒の良さとして成長を感じることができた。校外に出る機会を通して、気づき、学びがあり、改めて日専校の強みなど、職員、生徒と

(9頁へ続く)

(8頁の続き)
共に再確認できたものと思う。いよいよ最終学年への準備段階であるが、さらなる人間力向上をめざして欲しい。

生活体験発表日専校大会



生活体験発表会 (優秀賞 大橋さんの発表)

3月12日午後、体育館において2024年度生活体験発表日専校大会が行われた。本来の生活体験発表会とは、全国高等学校定時制通信制教育振興会主催、今年で73回目を数える歴史ある大会のことである。そもそも主たる目的は勤労学生の顕彰であったが、今や定時制通信制学校は勤労学生のためだけのものではなくなった。現在、多様な学び方を求める生徒たちが入学し、発表内容も時代に応じて大きく変化している。ところで、日専校では今年度1、2年生の各クラス代表5名が学校生活や日常生活の中で得た自らの体験を懸命に語った。彼らの発見や感動

は聴く者の大きな共感を呼び、会は成功裡に終わった。優秀賞には2年機械科の大橋由依さんと2年溶接科の佐久間貴大さんが選ばれた。今後ここからさらに1名が選ばれ、日専校代表として、東京都世田谷区の科学技術学園高等学校本校で7月に行われる東京大会へと駒を進める。

【発表者】 ○優秀賞

- 海老澤瑠波 (1年3組)
- 後藤 洸平 (1年1組)
- 大橋 由依 (2年機械科)
- 佐久間貴大 (2年溶接科)
- 佐々木慧音 (1年2組)

クラスマッチ



クラスマッチ (リレー競争)

3月14日、天候にも恵まれ、晴天の中クラスマッチを実施した。今回も昨年同様に、全種目スポーツ部門のみの「スポーツクラスマッチ」と称して実施した。種目はバレーボール、バスケットボール、バドミン

トン、サッカー、ソフトボール、リレー競走の合計6種目で争った。個人の特性を踏まえてメンバーを選出し、クラスで協力しながら団結する姿、さらに相互応援する姿が見られた。この戦いを制したのは、午後のバドミントンとリレーで1位を獲得し、大逆転で、2年機械溶接科が総合優勝。2年電気科が第2位となった。今年度最後の体育行事であり、大いに盛り上がる事ができた。

【総合成績】

- 優勝 2年 機械科
- 第2位 2年 電気科

実習体験代表報告会

3月17日、日専校体育館において実習体験代表報告会を実施した。2月に12会場で行われた18事業所の実習生54名の報告会には校長・教頭・関係職員が出席し、クラス・性別・実習内容などのバランスを考慮して



実習体験報告会 (高橋さんの報告)

8名の代表を選出した。今回の報告会は、卒業式に伴う3年生登校日の初日に開催することにより、3年生を含めた全校生徒が聴講することができた。発表者は職場や業務内容の紹介の他、失敗や改善の事例、苦労した点や今後の課題など自己評価や分析もされており、スライドの品質も十分であった。堂々とした発表態度や質疑応答の姿を見て、約半年間の工場実習での大きな成長を感じることができた。就職後の職場での活躍を大いに期待している。

【代表報告者】

- 今井 康介 (3年 電気科)
- 高橋 蒼翔 (3年 電気科)
- 土屋 太一 (3年 電気科)
- 野田 尊峯 (3年 電気科)
- 佐藤 瑛史 (3年 機械科)
- 田久 真 (3年 機械科)
- 山口 柚稀 (3年 機械科)
- 茅根 智史 (3年 溶接科)

2024年度卒業式

3月19日、第110回日立工業専修学校ならびに第58回科学技術学園高等学校 (科技高) の卒業式が日専校体育館で挙行された。今泉校長、科技高松田校長、ご来賓の日立製作所瀧本執行役常務、日工同窓会鈴木代表副会長からお祝いとお励ましの言葉をいただいた。卒業生は、みな真摯な面持ちでそれぞれのメッセージを心に刻んだ。在校生を代表して2年電気科の菅野昂流さんから卒業生への



卒業式



クラスの仲間と卒業証書を胸に

感謝の言葉、また、卒業生を代表して3年間の思い出と感謝の言葉、そして社会人としての決意が述べられた。それぞれの思いが込められ、自らの言葉で語られた素晴らしい内容であった。卒業生54名は日専校で培っ

(9頁の続き)

た人間力を大いに発揮し、職場の中心人財として活躍することを期待している。

2025年度入寮・入学式

4月7日、全国各地から75名の新入生が日専寮に入寮した。今年は何年より桜の開花が遅れ、満開の桜が新入生を迎えた。午前中は制服等の試着や荷物の整理、寮食堂で保護者も同席し、入寮説明会と新入生をサポートする寮役員、アドバイザーの紹介が行われた。これから始まる新たな学校生活に不安げな表情の生徒や、期待からわくわくした表情の生徒と様々であった。午後からは新しい制服に袖を通し、入学式に臨んだ。日立工業専修学校今泉校長、科学技術学園高等学校松田校長から新入生および保護者に歓迎の言葉があり、日立製作所グローバルタレントマネ



75名の新入生が入寮

ジメント部小林担当部長から学校管理者の言葉をいただいた。また、在校生を代表して3年電気科の佐久間貴大さんから在校生歓迎の言葉があり、新入生を代表して泉谷南月さんから入学生誓いの言葉があった。式典終了後にはさつき先輩、新入生同士の交流を深めるべくチームビルディングを行った。これからの3年間、この学び舎でたくさんの方を経験して成長し、世界に羽ばたく社会人をめざして欲しい。



入学式

新入生歓迎会

4月9日、体育館で新入生歓迎会を実施した。1週間の導入期間中、新入生の生活をサポートする寮役員が新入生一人ひとりを紹介し、新入生もまた先輩たちに元気よく挨拶した。その後、吹奏楽部による歓迎コンサートが行われ、終始和やかな雰囲気の中で終えることができた。新入生

にとつては環境も変わり、しばらくは慌ただしい日々が続くが、日専校生としての第一歩を踏み出した。これからの3年間、様々な経験を通して日本のモノづくりを支える人材に成長して欲しい。



新入生歓迎会 (吹奏楽部による演奏)

離任者紹介

真田 正孝先生 (86卒)
出身事業所…(株) 日立ハイテク
担当教科…機械実習



4月1日付で原籍の(株)日立ハイテクへ戻ることにしました。日専校で

の3年間で、実習の授業、クラス担任、部活動顧問と、違う立ち位置から生徒と接し、時代の流れと共に変える事、変えてはいけない事を身に沁みて感じました。職場においても

この経験を基に、尽力していきます。在任中にお世話になりました関係各位に厚く御礼申し上げます。

新任者紹介

目良 優也先生 (96卒)
出身事業所…(株) 日立ハイテク
担当教科…電気実習



自分が生徒だった15年前と比べると、日専校に求められているスキルはか

なり高度になっていと感じています。安全意識はもちろんのこと、自発的な行動力を養う取り組みやデジタル学習への取り組みなど、どんどん進化しています。先生になった立場でも、こういった取り組みを学びながら、高度なスキルを効果的に教えられるよう努力していきたいと思っています。

工藤 雄大先生 (84卒)
出身事業所…(株) 日立ハイテク
担当教科…機械実習



母校である日専校に恩返しができるように精進して参ります。これまで会社生

活で培ってきた経験を基に時代の変化に対応した日専校のキャリアキュラムを生徒と共に成長していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

川崎 清勝先生 (101卒)

出身事業所…(株) 日立パワーソリューションズ
担当教科…溶接実習



在学中には教諭として日専校に帰って来ることなど想像もしていませんでした。

他の先生方に比べたら、現場での経験等は少ないですが、生徒との年齢も近い分生徒に寄り添って、共に学んで行けたらと思います。不慣れな点も多くご迷惑かけることもあるかと思いますが、私なりに頑張っ

て行きますので、ご指導の程よろしくお願いたします。
中山 隆一先生 (68卒)
出身事業所…三菱重工(株)
担当教科…機械実習



今年度より日専校で機械実習を担当します。私が在学していた当時からみると

と大きく学校のあり方も変わり、時代にあった企業内学校と感じます。私が在学していた時に現在の校舎、食堂に建て替えられ、旧校舎、新校舎で学ぶ経験ができ、昔の記憶がよみがえります。実習授業の他、寮業務、部活動(野球部)も担当します。日専校から生徒と接し人財育成に貢献できるよう努めて参ります。